

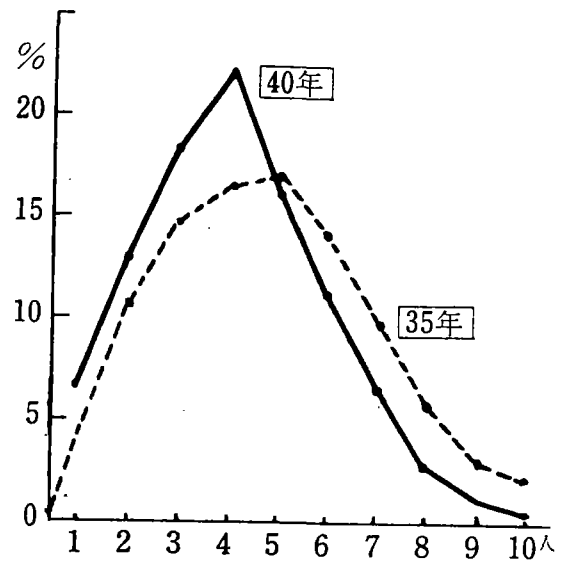
### 15. 世帯の種類別世帯数と普通世帯の世帯主の産業

昭和40年の普通世帯の平均世帯人員は4.17人で、35年の4.77人に比較して0.6人減少した。

普通世帯の世帯人員別分布をみると4人世帯がもっとも多く22.4%を占め、ついで3人世帯(18.6%)5人世帯(16.0%)2人世帯(13.0%)6人世帯(11.3%)の順となっている。

昭和35年の結果と比べると1～4人世帯が高くなり5人以上の世帯が低下を示した。これは全国的な傾向でもあるが、特に本県は人口急増にみられるように、県北西部、内湾ぞいの都市化に伴いこの傾向は高く、核心家族化が顕著といえよう。

世帯人員の比較 (35～40)



昭和40年10月1日現在

世帯の種類 世帯人員	世帯数		普通世帯の 世帯主の産業	普通世帯数 世帯人員	
	普通世帯	準世帯		世帯数	世帯人員
<b>普通世帯</b>	<b>621 045</b>	-	<b>総数</b>	<b>621 045</b>	<b>2 590 981</b>
1人	43 195	-	世帯主が就業者 農業、狩猟業 林業、水産養殖業 鉱建建設業 製造業 卸売業・小売業 金融・保険・不動産業 運輸・通信業 電気・ガス・水道業	568 092	2 412 754
2人	80 481	-		136 197	734 681
3人	115 266	-		486	1 989
4人	138 926	-		15 904	77 596
5人	99 504	-		1 211	4 897
6人	70 029	-		46 273	185 615
7人	42 646	-		121 442	457 890
8人	18 081	-		90 108	352 193
9人	7 982	-		15 996	58 784
10人	3 038	-		44 544	177 932
11人以上	1 897	-	3 981	16 140	
準世帯	-	16 119	サービス業務 分類不能の産業	67 204 24 602 144	250 110 94 431 496
その他	-	8 777	完全失業者 非労働力 労働力状態不詳	5 633 46 447 95	18 743 156 586 347
1世帯当たり人員	4.17	6.87	14歳以下の世帯主	778	2 551